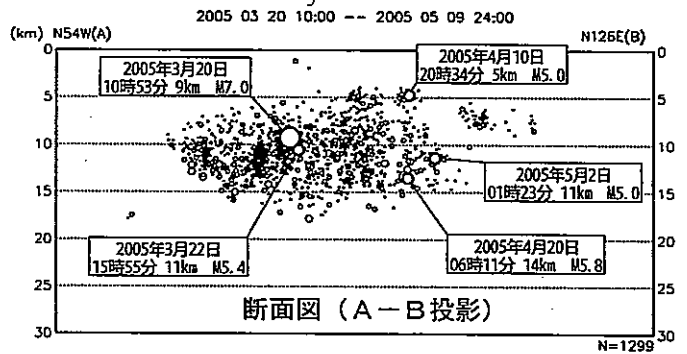
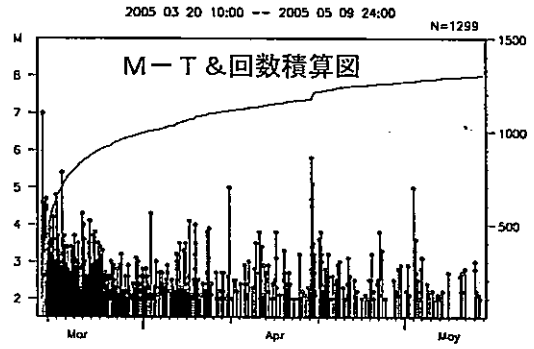
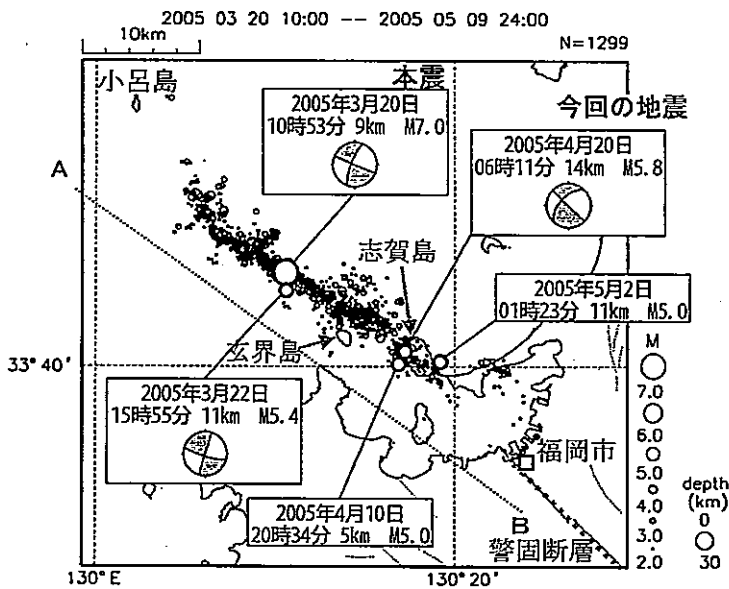
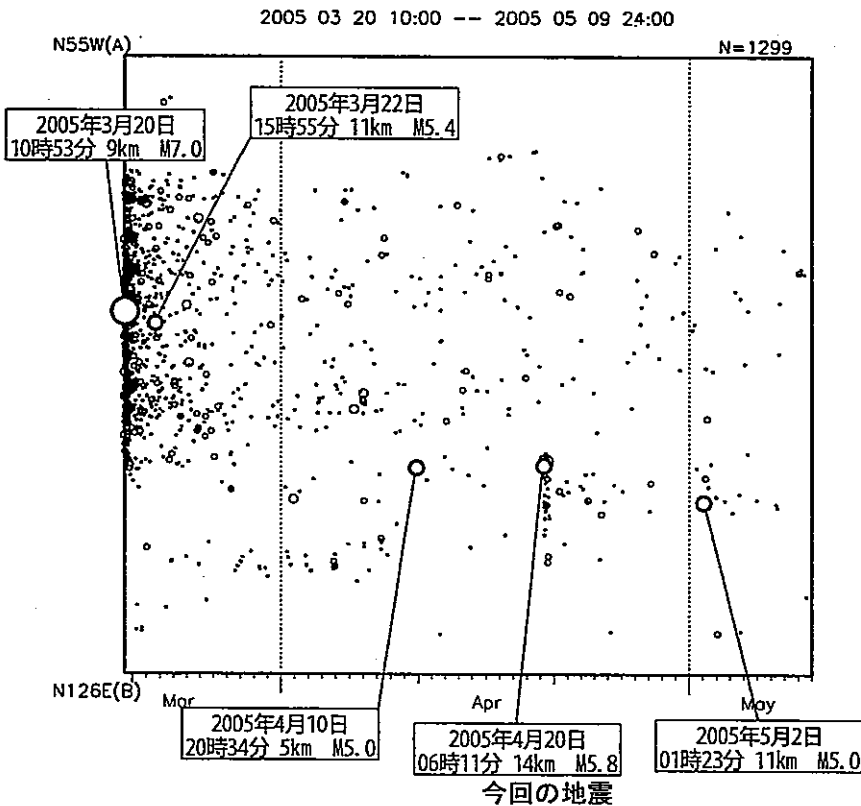


福岡県西方沖の地震の余震活動（4月20日 M5.8の余震）

震央分布図（本震発生以降、 $M \geq 2.0$ ）



時空間分布図 (A-B 投影)



2005年4月20日06時11分に福岡県西方沖の深さ14kmでM5.8（最大震度5強）の地震（2005年3月20日のM7.0の地震の余震）が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、これまでの地震とほぼ同様である。

この地震は本震発生以降、これまでの最大の余震で、震央は北西-南東方向に伸びる余震域の南東端付近（志賀島付近）に位置している。今回の地震の近傍では、4月10日にもM5.0の余震（深さ5km）が発生しているが、今回の地震はそれよりもやや深いところで発生した。

この地震の後、二次的な余震が発生し、活動域は博多湾方向に伸びた。その後4月末までに活動は収まりつつあったが、5月2日にも志賀島付近でM5.0の地震が発生した。